



## 平成24年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月13日

上場会社名 株式会社TSIホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 3608 URL <http://www.tsi-holdings.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島芳樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 (氏名) 門田 潔 (TEL) 03(5213)5511  
 四半期報告書提出予定日 平成24年1月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年2月期第3四半期の連結業績(平成23年3月1日～平成23年11月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第3四半期	98,057	—	△3,280	—	△4,482	—	△4,570	—
23年2月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第3四半期	△43 85	— —
23年2月期第3四半期	— —	— —

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第3四半期	212,312	132,524	60.9	1,117 46
23年2月期	—	—	—	— —

(参考) 自己資本 24年2月期第3四半期 129,379百万円 23年2月期 一百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	—	—	—	—	—
24年2月期	—	—	—	—	—
24年2月期(予想)	—	—	—	17 50	17 50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

## 3. 平成24年2月期の連結業績予想(平成23年3月1日～平成24年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	—	△4,000	—	△6,000-	—	△7,000	—	△60 46

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

詳細につきましては、本日(平成24年1月13日)発表の「通期業績予想の修正のお知らせ」をご参照下さい。

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2.その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年2月期3Q	115,783,293株	23年2月期	—株
24年2月期3Q	2,700株	23年2月期	—株
24年2月期3Q	104,212,415株	23年2月期3Q	—株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は、平成23年6月1日に、株式会社東京スタイルと株式会社サンエー・インターナショナルの共同株式移転の方法による共同持株会社として設立されました。当社設立に際し、株式会社東京スタイルを取得企業として企業結合会計を適用しているため、当第3四半期連結累計期間（平成23年3月1日から平成23年11月30日まで）の連結経営成績は、取得企業である株式会社東京スタイルの平成24年2月期第3四半期連結累計期間（平成23年3月1日から平成23年11月30日まで）の連結経営成績を基礎に、株式会社サンエー・インターナショナルの平成23年6月1日から平成23年11月30日までの連結経営成績を連結したものとなります。

なお、株式会社サンエー・インターナショナルは、当社及び株式会社東京スタイルの決算日と統一するために、平成23年8月19日開催の臨時株主総会において、定款一部変更を決議し、平成23年9月1日以後開始する事業年度の決算日を8月31日から2月末日に変更しております。よって、株式会社サンエー・インターナショナルの平成23年6月1日から平成23年11月30日までの連結累計期間は、平成23年8月期第4四半期連結会計期間（平成23年6月1日から平成23年8月31日まで）と平成24年2月期第3四半期連結会計期間（平成23年9月1日から平成23年11月30日まで）を累計したものとなります。

2. 当社は、平成23年6月1日設立のため、前期実績及び前年同四半期実績等は記載しておりません。

3. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
【第3四半期連結累計期間】 .....	7
【第3四半期連結会計期間】 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報 .....	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	14

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社は、平成23年6月1日に、株式会社東京スタイルと株式会社サンエー・インターナショナルの共同株式移転の方法による共同持株会社として設立されました。よって、当連結会計年度が設立第1期となるため、前年同四半期との対比は行っておりません。

当第3四半期連結累計期間（平成23年3月1日～平成23年11月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による景気の低迷や消費マインドの冷え込みから持ち直し傾向にありますが、円高の進行と欧州を中心とした信用不安から不透明な状況で推移しました。

当アパレル業界におきましても、一部に回復の兆しが見られるものの、個人消費は依然として軟調に推移するなかで、企業間競争はますます激しさを増しております。

こうしたなか、当社グループは、前四半期に引き続き傘下の東京スタイルグループ並びにサンエー・インターナショナルグループが、経営資源を共有し、相互に補完することで経営統合のシナジー効果の具現化を図るとともに、グループ各社が連携して積極的な事業展開を推進しました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は980億57百万円となりました。損益面では、M&Aに伴うのれん代の償却負担の増加に加え、新ブランド開発や広告宣伝の強化といった積極的な先行投資を実施したため、営業損益は32億80百万円の損失となり、経常損益は44億82百万円の損失となりました。

また、負ののれん発生益40億39百万円を含む44億20百万円の特別利益を計上し、一方で、投資有価証券の減損・売却損や店舗資産の減損を含む23億97百万円の特別損失を計上したことにより、四半期純損益は45億70百万円の損失となりました。

セグメント別の売上の概況は次の通りです。

#### （東京スタイルグループ [9ヵ月]）

高品質で付加価値が高くオリジナリティーのあるS・V・M（スーパー・バリュー・マーチャンダイジング）商品を、ウェアリングに重点を置いた特色ある商品群として打ち出したほか、新ブランド“セレーヌ デプト”と新生“ラヴドゥローズ&コー”を秋冬物から販売しました。また、M&Aにより複数の個性ある有力セレクトショップを子会社化するなど、業容の拡大をはかりました。その結果、東京スタイルグループの売上高は474億94百万円となりました。

#### （サンエー・インターナショナルグループ [6ヵ月]）

テレビCMによる積極的な広告宣伝活動を実施したほか、百貨店との協業による新ブランド“リミテッドエディション・ビバユー”を開始しました。また、サンエー・インターナショナルグループで展開するWEB通販“セレクトソニック”において、前四半期より開始した東京スタイルグループの商品取扱を大幅に拡大しました。その結果、サンエー・インターナショナルグループの売上高は506億77百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)
総 資 産	212,312
負 債	79,788
純 資 産	132,524
自己資本比率	60.9%
1株当たり純資産	1,117.46円

総資産は2,123億12百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金が303億65百万円、受取手形及び売掛金が195億27百万円、たな卸資産が267億2百万円、有形固定資産が227億64百万円、のれんが169億50百万円、投資有価証券が653億87百万円であります。

負債は797億88百万円となりました。その主な内訳は、支払手形及び買掛金が255億64百万円、短期借入金が180億5百万円、1年内返済予定を含む長期借入金が72億45百万円であります。

純資産は1,325億24百万円となりました。その主な内訳は、資本金が150億円、資本剰余金が709億56百万円、利益剰余金が513億67百万円、自己株式が1百万円であります。

以上の結果、1株当たり純資産は1,117.46円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月14日に発表しました平成24年2月期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成24年1月13日)発表の「通期業績予想の修正のお知らせ」をご参照ください。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

#### ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

一部の連結子会社は、当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

#### ②たな卸資産の評価方法

一部の連結子会社は、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ、正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### ③固定資産の減価償却費の算定方法

当社及び一部の連結子会社は、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ④法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

当社及び一部の連結子会社は、法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

一部の連結子会社は、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合は、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。また、前連結会計年度末以降に経営環境等、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められる場合は、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ①資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業損失は114百万円、経常損失は156百万円、税金等調整前四半期純損失は471百万円それぞれ増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は513百万円であります。

#### ②企業結合に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

### 3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間末  
(平成23年11月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	30,365
受取手形及び売掛金	19,527
商品及び製品	25,763
仕掛品	704
原材料及び貯蔵品	235
その他	5,322
貸倒引当金	△168
流動資産合計	81,749
固定資産	
有形固定資産	※1 22,764
無形固定資産	
のれん	16,950
その他	3,464
無形固定資産合計	20,415
投資その他の資産	
投資有価証券	※2 65,387
その他	22,394
貸倒引当金	△397
投資その他の資産合計	87,383
固定資産合計	130,562
資産合計	212,312
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	25,564
短期借入金	※2 18,005
1年内返済予定の長期借入金	2,682
未払法人税等	1,035
賞与引当金	1,965
役員賞与引当金	23
ポイント引当金	385
株主優待引当金	16
返品調整引当金	827
資産除去債務	9
その他	16,685
流動負債合計	67,201
固定負債	
長期借入金	4,562
退職給付引当金	1,636
役員退職慰労引当金	876
資産除去債務	2,218
その他	3,292
固定負債合計	12,587
負債合計	79,788

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間末  
(平成23年11月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	15,000
資本剰余金	70,956
利益剰余金	51,367
自己株式	△1
株主資本合計	137,321
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	△7,704
繰延ヘッジ損益	△6
為替換算調整勘定	△230
評価・換算差額等合計	△7,941
新株予約権	297
少数株主持分	2,846
純資産合計	132,524
負債純資産合計	212,312



(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
売上高	98,057
売上原価	49,126
売上総利益	48,931
販売費及び一般管理費	※ 52,211
営業損失(△)	△3,280
営業外収益	
受取利息	447
受取配当金	347
その他	322
営業外収益合計	1,116
営業外費用	
支払利息	90
店舗等除却損	212
為替差損	100
有価証券評価損	386
投資有価証券評価損	600
デリバティブ評価損	506
その他	421
営業外費用合計	2,318
経常損失(△)	△4,482
特別利益	
固定資産売却益	22
負ののれん発生益	4,039
新株予約権戻入益	272
その他	85
特別利益合計	4,420
特別損失	
固定資産除却損	80
減損損失	709
投資有価証券売却損	549
投資有価証券評価損	284
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	315
災害による損失	71
段階取得に係る差損	40
その他	345
特別損失合計	2,397
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,459
法人税、住民税及び事業税	1,553
法人税等調整額	242
法人税等合計	1,796
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△4,255
少数株主利益	314
四半期純損失(△)	△4,570

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)	
売上高	46,008
売上原価	20,767
売上総利益	25,240
販売費及び一般管理費	※ 24,174
営業利益	1,066
営業外収益	
受取利息	157
受取配当金	42
デリバティブ評価損戻入益	370
その他	120
営業外収益合計	690
営業外費用	
支払利息	45
店舗等除却損	30
為替差損	112
投資有価証券評価損	171
その他	123
営業外費用合計	484
経常利益	1,271
特別利益	
投資有価証券評価損戻入益	418
特別利益合計	418
特別損失	
固定資産除却損	48
その他	191
特別損失合計	240
税金等調整前四半期純利益	1,450
法人税、住民税及び事業税	764
法人税等調整額	507
法人税等合計	1,272
少数株主損益調整前四半期純利益	178
少数株主利益	91
四半期純利益	86

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
(自平成23年3月1日  
至平成23年11月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,459
減価償却費	2,556
負ののれん発生益	△4,039
のれん償却額	1,591
貸倒引当金の増減額(△は減少)	188
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△33
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	112
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△8
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△88
ポイント引当金の増減額(△は減少)	79
株主優待引当金の増減額(△は減少)	9
受取利息及び受取配当金	△794
支払利息	90
有価証券評価損益(△は益)	386
店舗等除却損	212
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	315
固定資産除却損	80
減損損失	709
投資有価証券売却損益(△は益)	549
投資有価証券評価損益(△は益)	884
デリバティブ評価損益(△は益)	506
災害損失	71
売上債権の増減額(△は増加)	△3,037
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,070
仕入債務の増減額(△は減少)	2,629
新株予約権戻入益	△272
段階取得に係る差損益(△は益)	40
その他	727
小計	△2,069
利息及び配当金の受取額	794
利息の支払額	△88
法人税等の支払額	△2,369
法人税等の還付額	422
災害損失の支払額	△71
違約金の支払額	△200
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,582

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
(自平成23年3月1日  
至平成23年11月30日)

投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△71
有形固定資産の取得による支出	△3,174
有形固定資産の売却による収入	62
投資有価証券の取得による支出	△2,222
投資有価証券の売却による収入	5,420
無形固定資産の取得による支出	△55
敷金及び保証金の差入による支出	△780
敷金及び保証金の回収による収入	619
長期前払費用の取得による支出	△176
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△13,435
子会社株式の取得による支出	△1,329
その他	△223
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,364
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	12,011
長期借入金の返済による支出	△1,608
自己株式の売却による収入	387
配当金の支払額	△1,541
少数株主への配当金の支払額	△13
その他	△130
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,105
現金及び現金同等物に係る換算差額	△170
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△10,012
現金及び現金同等物の期首残高	25,675
株式移転による現金及び現金同等物の増加額	10,879
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 26,541

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、純粋持株会社としてアパレル事業を展開する各事業会社の経営管理及びグループ全体の戦略機能を担い、また、基幹事業会社である株式会社東京スタイル及び株式会社サンエー・インターナショナルは取り扱うアパレルブランドについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、2社の基幹事業会社を基礎としたグループ別のセグメントから構成されており、「東京スタイルグループ」、「サンエー・インターナショナルグループ」の2つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額(注) 2
	東京スタイルグループ	サンエー・インターナショナルグループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	47,384	50,670	98,054	—	98,054	3	98,057
セグメント間の 内部売上高又は振替高	110	7	118	4,412	4,530	△4,530	—
計	47,494	50,677	98,172	4,412	102,584	△4,527	98,057
セグメント利益又は損失(△)	△4,078	782	△3,296	4,057	760	△4,040	△3,280

(注) 1 「その他」の区分は、事業セグメントに所属しない当社（純粋持株会社）であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 サンエー・インターナショナルグループは、平成23年6月1日から平成23年11月30日までを連結したものと なります。

当第3四半期連結会計期間（自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	東京スタイ ルグループ	サンエー・ インターナ ショナルグ ループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	19,398	26,652	46,050	—	46,050	△42	46,008
セグメント間の 内部売上高又は振替高	62	4	66	4,232	4,298	△4,298	—
計	19,460	26,656	46,116	4,232	50,348	△4,340	46,008
セグメント利益又は損失(△)	△717	1,740	1,022	4,047	5,070	△4,004	1,066

(注) 1 「その他」の区分は、事業セグメントに帰属しない当社（純粋持株会社）であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

### 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結会計期間（自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日）

（固定資産に係る重要な減損損失）

「サンエー・インターナショナルグループ」セグメントにおいて、退店の意思決定をした店舗及び営業損益が継続してマイナスである店舗について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を店舗等除却損に含めて営業外費用に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結会計期間において30百万円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

「東京スタイルグループ」セグメントにおいて、株式会社アルページの株式を当第3四半期連結会計期間に取得し、連結子会社としました。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結会計期間において4,726百万円であります。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年6月1日に、株式会社東京スタイルと株式会社サンエー・インターナショナルの共同株式移転の方法による共同持株会社として設立されました。

また、当第3四半期連結会計期間に、完全子会社である株式会社東京スタイルは当社株式（株式移転直前に保有していた株式会社サンエー・インターナショナル株式）990,000株を売却いたしました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金は15,000百万円、資本剰余金は70,956百万円、利益剰余金は51,367百万円、自己株式は1百万円となっております。